

## 令和5年第1回定例会一般質問

No.	質問議員 氏名	質問事項	質問要旨	答弁を 求める者	発言 時間
1	殿井 堯 (一問一答)	1. 有田川町の計画的なまちづくりについて	<p>有田川町の面積は約352平方キロメートルと広大であり、その中でも人口が減少している地域と増加している地域とでは、同じようなまちづくり行政を行うことに、困難が生じてきているのではないだろうか。</p> <p>そのため、各地域の実情に応じた行政を行っていくため、各部署で連携した施策を進めていくことが必要であると考えます。</p> <p>今回の質問は、以下の点について、各部署間でどのような連携を図って施策を進めているのか、またそれに伴う財政的な保証等を問う。</p> <p>① 人口増加地域の施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こどもの数が増えることによる保育所、学校施設、学童施設等の対策</li> <li>・ 人口が増えることによる都市公園、防災広場、避難施設等の対策</li> <li>・ 農地が減り、家屋が増えることによる農業及び給排水対策</li> <li>・ 新生児が増えることによる医療機関等の対策</li> <li>・ 転入者に対する対策</li> </ul> <p>② 人口減少地域の施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者世帯等への対策（交通、医療、福祉）</li> <li>・ 公的施設等の維持管理対策（休止、廃止した施設の維持管理）</li> <li>・ 道路の維持管理（町道の廃止等）</li> <li>・ 農業が衰退することによる耕作放棄地等の対策</li> </ul>	町長 副町長 教育長 担当部長 財政担当 課長	60分

No.	質問議員氏名	質問事項	質問要旨	答弁を求めらる者	発言時間
2	栗山 昌之 (一問一答)	1. 令和4年3月議会以降一般質問を行って執行部から検討すると回答をいただいた後の検討結果について	<p>① 令和4年3月議会 職員等の出張・通勤のコンプライアンス 町道の白線・横断歩道の再塗装 義務教育のデジタル化(電子教科書) 財源削減や収入増の対応(ふるさと納税の増) 第2次長期総合計画の実績報告(ホームページなど)</p> <p>② 6月議会 AEDの配置(施設の外付け) 救急車の進入できない地区対応(軽自動車消防車の配置) 住民票等の写しの第三者交付時の通知</p> <p>③ 9月議会 第2次有田川町長期総合計画(後期)の進捗状況 エルベースの実績と今後の事業方針</p> <p>④ 12月議会 ALECの運営の検討結果及び改善点 ポップ絵本館の今後の利用方法(改修方針も含め) 絵本原画収集の方針 職員のコンプライアンス</p>	町長 副町長 教育長 消防長 担当部長	60分
		2. 防犯のため町内各所への防犯カメラの設置について	近年都市部が中心ですが、強盗等が多発しているため、安心安全な生活確保のため交差点各所とゴミステーションへの防犯カメラの設置できないか。	町長 担当部長	
		3. 都市計画変更内容及び用途除外申請の影響など	都市計画の変更内容と概要、農振地用途除外申請への影響、新都市計画における防災関連計画について	町長 担当部長	
3	椿原 竜二 (一問一答)	1. エネルギー・食料品などの物価高騰について	4年目を迎えたコロナ感染症。陽性者の全数把握が簡素化され、5月からは季節性インフルエンザと同等の「5類」に引き下げられる予定である。ウィズコロナの下、社会経済活動の正常化が進みつつあるが、ロシアによるウクライナ侵略を背景とした国際的な原材料価格の上昇に加え、円安の影響などから、日常生活に密接なエネルギー・食料品などの価格上昇が続いている。本町ではどのように認識をしているか。また、家計への負担が増大しているが支援策など考えているのか。	町長 副町長 担当部長	40分

No.	質問議員氏名	質問事項	質問要旨	答弁を 求める者	発言 時間
		2. パートナーシップ制度について	令和4年3月定例会の一般質問で「パートナーシップ制度の導入に向けて、先進事例を参考に研究していきたい」と答弁があった。2/22の和歌山県議会で、パートナーシップ制度導入に向け前向きに検討すると岸本知事が答弁されていた。一般質問後、これまでどのような取り組みが行われ、これからどのように取り組むのか。	町長 担当部長	
		3. 保育所の使用済み紙おむつについて	令和4年6月定例会の一般質問で、「保育所で発生する使用済み紙おむつを保育所で処理ができるのか検討し、できるだけ処理できるようにしていきたい」と答弁があった。先日、厚生労働省は「保護者が持ち帰らず、保育所で処分を」という方針を全国の自治体に示した。一般質問後、これまでどのような取り組みが行われ、これからどのように取り組むのか。	町長 教育長 担当部長	
4	増谷 憲 (一問一答)	1. 子育て支援について	1. 保育所運営について ①保育料が無料になっていない世帯の無料化を。 ②保育士の配置基準からして現状の配置数は。 ③育休退園について。 ④吉備地区の保育所の新設と清水地区の保育所の運営は。 ⑤正規保育士の採用について。 2. 学童保育所の保育料の算定根拠と根拠規定は。	町長 担当部長	60分
		2. 加齢による難聴支援について	1. 加齢性難聴への対策は認知症対策につながるということへの認識は。 2. 介護保険での要介護申請の認定調査のうち、聴力に関する調査等、高齢者の難聴実態の把握と定期的な検査を。特定検診や問診票に項目を追加すべきではないか。 3. 医療費控除の対象になることの周知は。 4. 補助対象の70デシベルとWHOの41デシベルの違いの問題点の認識は。 5. 助成制度の創設を。	町長 担当部長	
		3. 降雪対策について	1. 清水地域を中心に、1月末から降雪した関係で、トータル的にどのような被害が発生し、対応についてどのような問題点、課題が残ったか。 2. 今回の降雪は、雪害ではないか、認識はどうか。 3. 迅速な除雪が可能な体制づくり、孤立対策、倒木と停電への迅速な対応。 4. 地域防災計画にも盛り込むべきではないか。	町長 担当部長	

No.	質問議員 氏名	質問事項	質問要旨	答弁を 求める者	発言 時間
5	本下 雅敏 (一問一答)	1. 災害時の情報伝達強化について	南海トラフは30年で、70、80%発生する予報が新聞や、テレビで度々報道されています。30年先か、明日の事になるかも知れません。 ① 災害時準備として 物資等の備蓄 緊急時避難所指定 要支援者情報 ② 災害時の情報伝達手段は ③ 防災力を高める為企業との連携は ④ 災害時の高齢者、障害者などへの要支援者対策を ⑤ 必要に応じて町の制度を活用していくべき ⑥ 二次災害防止の為に、今ある補助金の活用 ⑦ 土木事業者と防災について ⑧ 鳥尾川の流れている尾中地区付近で浚渫などの進捗について	町長 担当部長	30分
6	堀江 眞智子 (一問一答)	1. 小中学校のトイレ暖房便座について	① 設置の現状について ② 今後の計画について	教育長 担当部長	40分
		2. 御霊学童保育について	① 2023年度の利用児童数が確定したが、現行の施設で対応できるのか。 ② 利用したい児童は全員受け入れができるのか。	教育長 担当部長	
		3. JA ありだの「媒体持込手数料新設」について	① JA 「媒体持込手数料新設」によって、給食費や子ども貯金などでJAの口座を利用している場合、手数料はどれくらいかかってくるのか。 ② JA 「媒体持込手数料新設」によって、保護者負担が増えることにならないのか。 ③ JA 「媒体振込手数料新設」によって、保護者負担が増える部分について町としての軽減措置は考えていないのか。	教育長 担当部長	

No.	質問議員 氏名	質問事項	質問要旨	答弁を 求める者	発言 時間
7	岡 省吾 (一問一答)	1. 学校教育における「地域の未来を考える学習」の有益性について	<p>去る1月20日に八幡中学校3年生によるプレゼン発表会が開催された。この発表会は「清水地区を魅力的にするプロジェクト」という題目であった。次世代を担う皆さんが、授業の一環としてふるさとのことを真剣に考え、学んでいることは非常に有意義であると考え。そのようなことを踏まえて以下の点について聞く。</p> <p>① 総合的な学習としてのこのたびの発表会。その意義をどう捉えているか。  ② 町内その他中学校での総合的な学習はどのようなことを学ばれているか。  ③ 子ども議会の再開催の考えは。</p>	町長 副町長 教育長 担当部長	40分
		2. これまで行った一般質問のその後について	<p>① 地域から強く要望されていた清水地域公園整備事業の進捗状況は。  ② 「免許外教科担任」の是正に向けて、県教育委員会の動きに進展はあるか。  ③ 消防指令業務の県下一元化に関して、その後の動向はどうか。</p>	町長 教育長 消防長 担当部長	